

食いしん坊の 食文化論

グルメの町、

日本橋人形町に本陣を構える著者は

東京の名だたる老舗はもとより、

美味しい料理、菓子を求めて

京都、大阪に足をのぼし、ヨーロッパ、中国
にも出かける。

食いしん坊の取引所理事長が語る食文化論。

岸朝子さんとの「食育」対談も。



森
實
孝
郎
著



四六判、約150頁

定価1,575円（税込）

発行：市場経済研究所

発売：河出書房新社

序章

- 一、人形町のこと
- 二、下戸の美味礼賛
- 三、食を決める要因

第二章 京と江戸

- 一、京懐石
- 二、庶民に愛される江戸の味
- 三、京の菓子と江戸の菓子

第三章 食文化の同一性と国際化

- 一、食文化の同一性
- 二、食文化の国際化

第四章 変貌する食卓の風景

- 一、銘々膳、ちゃぶ台、ダイニングキッチン
- 二、食卓の風景を変えた要因
- 三、今、食卓の風景の再構築へ

第五章 対談・インタビュー・著者点描

- 一、対談 食育の時代に向けて 森實孝郎・岸 朝子
- 二、インタビュー 森實孝郎のコーヒー論
- 三、森實孝郎氏点描

お申し込みは（販売代行）株式会社 市場経済研究所

Tel 03-3664-2161 Fax 03-3664-2168

URL <http://www.shijoken.co.jp>